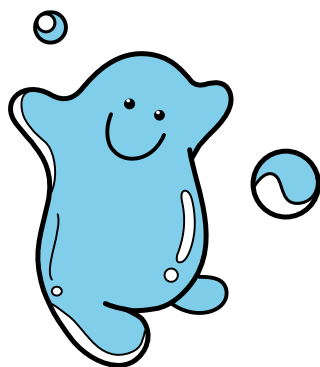


資 料	水－1
作 成	水 道 局 総 務 部
提 出	令和 7 年 7 月 30 日

令和 7 年度予算の概要

札幌市水道局

令和7年度 予算の概要



ウォッピー

札幌市水道局公式キャラクター

令和7年（2025年）7月30日
札幌市水道局

目 次

1	収益的収支	P 1
2	資本的収支	P 2
3	資金残高	P 3
4	予算額の推移（5年間）	P 4
5	業務量	P 5
6	主要事業の概要	P 6
	（1）豊平川水道水源水質保全事業	P 7
	（2）配水管の整備	P 8
	（3）白川浄水場改修事業	P 9
	（4）白川第1送水管更新事業	P 10
	（5）設備更新	P 11
	（6）配水施設耐震化等整備事業	P 12
	（7）スマートメーターの調査研究	P 13
	（8）広報・広聴活動	P 14
	（9）水道記念館を活用した水道学習の推進	P 15
	（10）人材の育成と技術継承	P 16
	（11）再生可能エネルギーの導入拡大	P 17

1 収益的収支～水道事業の運営に関する収支

- 収益的収支は、1年間の企業の経営活動に伴い発生する「収益」と「費用」からなり、企業の経営成績を表すもの。
- 主に、収入の大部分を占める給水収益と、施設の運転やその管理費など、事業を運営するための費用である運営管理費等からなる。
- 令和7年度予算の収支差引は76億円の黒字(消費税抜の純利益は49億円)と見込んでいる。

(消費税込、単位:億円)

区 分		R7年度 予算①	R6年度 予算②	増減 ③=①-②	増減率 ④=(③/②)×100	備 考
収益的収入 A		482	464	17	3.8%	
営業 収益	うち給水収益	385	415	▲ 30	▲7.3%	水道基本料金減額の実施に伴う減(30億円減)
収益的支出 B		406	386	19	5.0%	
営業 費用	うち運営管理費	224	210	14	6.6%	石狩西部広域水道企業団からの受水に係る受水費の増(16億円増)
	うち減価償却費等	135	131	4	2.9%	
営業外費用		8	9	▲ 1	▲14.6%	
差 引 A-B		76	78	▲ 2	▲2.4%	消費税抜の純利益は49億円

※内訳は主な項目のみ記載している。また、各項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。
 ※令和6年度予算は当初予算である。

2 資本的収支～設備投資とその財源に関する収支

○ 資本的収支は、公営企業の将来の経営活動に備えて行う施設の建設・改良等の事業費や、建設改良に係る企業債償還金などの支出及びその財源となる企業債等の収入を表すもの。

○ 令和7年度予算の収支差引は187億円の収支不足と見込んでいる。

(消費税込、単位:億円)

区 分	R7年度 予算①	R6年度 予算②	増減 ③=①-②	増減率 ④=(③/②)×100	備 考
資本的収入 C	160	94	66	69.8%	
うち企業債借入	120	60	60	100.0%	企業債借入の増
うち出資金	0	19	▲ 19	▲ 100.0%	石狩西部広域水道企業団事業完了による皆減
資本的支出 D	348	330	17	5.3%	
うち建設改良費	291	253	38	15.0%	白川浄水場や配水管整備の事業費増
うち企業債償還金	56	58	▲ 2	▲ 3.3%	令和7年度末の未償還残高は571億円の見込
うち出資金	0	19	▲ 19	▲ 100.0%	石狩西部広域水道企業団事業完了による皆減
差 引 C-D	▲ 187	▲ 236	48	20.6%	

※内訳は主な項目のみ記載している。また、各項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。
 ※令和6年度予算は当初予算である。

3 資金残高

○ 資金残高は、外部に流出せずに企業内部に残っている資金の額を表すもの。

○ 令和7年度末の資金残高は75億円と見込んでいる。

(消費税込、単位：億円)

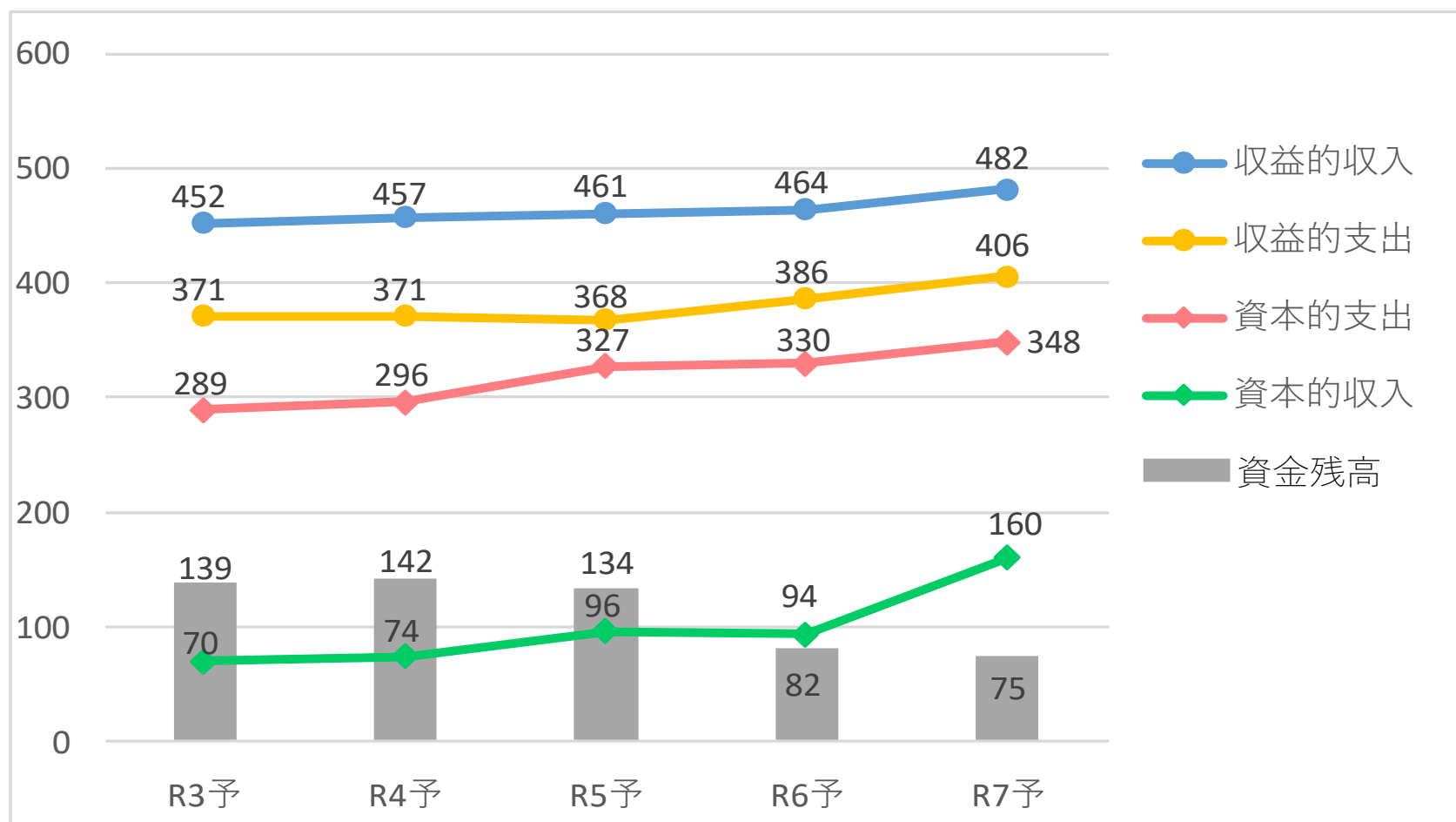
区 分	R7年度 予算①	R6年度 予算②	増減 ③=①-②	増減率 ④=(③/②)×100	備 考
当年度資金収支 E	▲ 2	▲ 54	52	96.4%	
収益的収支差引	76	78	▲ 2	▲ 2.4%	水道事業の運営に関する収支
資本的収支差引	▲ 187	▲ 236	48	20.6%	設備投資とその財源に関する収支
当年度分 損益勘定留保資金等	110	104	5	5.0%	減価償却費等の非現金支出の費用による内部留保資金
過年度分内部留保資金 F	77	136	▲ 58	▲ 43.1%	過年度から繰り越された資金
合計（資金残高）E + F	75	82	▲ 7	▲ 8.2%	
水道施設更新積立金	30	44	▲ 14	▲ 31.8%	老朽施設更新のために積立している資金
上記以外の額	45	38	7	19.3%	翌年度以降の建設改良費の財源

※各項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。

※令和6年度予算は当初予算であるが、過年度分内部留保資金は決算置換後の額である。

4 予算額の推移（5年間）

（消費税込、単位：億円）



※各項目ごとに四捨五入している。

5 業務量

区 分		令和 7 年度 予算 A	令和 6 年度		差引増減△			
			当初予算 B	決算見込 C	当初予算対比		決算見込対比	
					増減△ A-B=D	比率(%) D/B	増減△ A-C=E	比率(%) E/C
人 口 等	給 水 区 域 内 人 口 (人)	1,960,984	1,961,184	1,962,649	△ 200	△ 0.0	△ 1,665	△ 0.1
	給 水 人 口 (人)	1,959,784	1,959,906	1,961,378	△ 122	△ 0.0	△ 1,594	△ 0.1
	普 及 率 (%)	99.9	99.9	99.9	0.0	-	0.0	-
水 量 等	年 間 配 水 量 (m³)	189,390,000	189,947,000	189,508,000	△ 557,000	△ 0.3	△ 118,000	△ 0.1
	1 日 平 均 配 水 量 (m³)	518,900	520,400	519,200	△ 1,500	△ 0.3	△ 300	△ 0.1
	年 間 有 収 水 量 (m³)	177,176,000	177,697,000	177,286,336	△ 521,000	△ 0.3	△ 110,336	△ 0.1
	有 収 率 (%)	93.6	93.6	93.6	0.0	-	0.0	-
年 度 末 給 水 件 数 (件)		930,614	918,475	921,566	12,139	1.3	9,048	1.0
年 度 末 配 水 管 総 延 長 (m)		5,968,313 (6,109,942)	5,963,211 (6,104,119)	5,961,769 (6,102,868)	5,102 (5,823)	0.1 (0.1)	6,544 (7,074)	0.1 (0.1)

※これまでは送水と配水の両機能を有する管を配水管として区分していたが、新たな国庫補助制度に合わせて、これらの管を送水管として区分し直したことから「年度末配水管総延長」が変更になっている。カッコ内は従来の区分による値である。

6 主要事業の概要

(消費税込、単位:百万円)

目標	主な事業	事業費
1 安全で良質な水の確保	(1) 豊平川水道水源水質保全事業	2,135
2 安定した水の供給	(2) 配水管の整備	14,379
	(3) 白川浄水場改修事業	6,391
	(4) 白川第1送水管更新事業	1,190
	(5) 設備更新	2,530
	(6) 配水施設耐震化等整備事業	543
3 利用者に満足される水道	(7) スマートメーターの調査研究	13
	(8) 広報・広聴活動	31
	(9) 水道記念館を活用した水道学習の推進	123
4 健全経営のもと自律した水道	(10) 人材の育成と技術継承	18
	(11) 再生可能エネルギーの導入拡大	371

6 主要事業の概要

(消費税込 単位:百万円)

目 標	主な事業	事業費
1 安全で良質な水の確保	(1) 豊平川水道水源水質保全事業	2,135

【事業内容】

豊平川上流域における水質悪化の要因(自然湧水に含まれるヒ素など)を、水道原水から取り除くため、バイパス水路を用いて白川浄水場取水地点の下流にバイパス・放流し、より良質な水を浄水場で取水可能にする。

玉川橋取水堰

自然湧水を含む河川水を取水

定山溪接合井

定山溪水再生プラザの下水処理水をバイパス水路へ受け入れるための地下構造物

バイパス水路(約10km)

取水した水を浄水場取水地点の下流へう回(バイパス)

放流調整関連施設

管理センター:放流水の水質・水圧を調整

排水処理施設:水処理に伴い発生する泥を乾燥し処理するための天日乾燥床等



凡例

整備済

R7 施工予定箇所

6 主要事業の概要

(消費税込 単位：百万円)

目 標	主な事業	事業費
2 安定した水の供給	(2) 配水管の整備	14,379

【事業内容】

新たに策定した「配水管整備計画」に基づき、配水管の重要度、漏水発生リスクの評価から整備優先度を設定することによって、管路の延命化と事業量の平準化を図りながら、優先度の高い管路から整備を進めていく。

《配水本管の整備》



平岸第1、北、清田第2の
3幹線1.8kmを整備

事業費 2,956百万円

《配水支管の整備》



老朽管の更新や医療機関へ向かう

配水管の耐震化など46.3kmを整備

事業費 11,423百万円

《管路布設の状況》



R7整備延長は、『配水管の整備』事業48.1kmに都心アクセス道路事業の関連工事等1.7kmを加えた49.8km

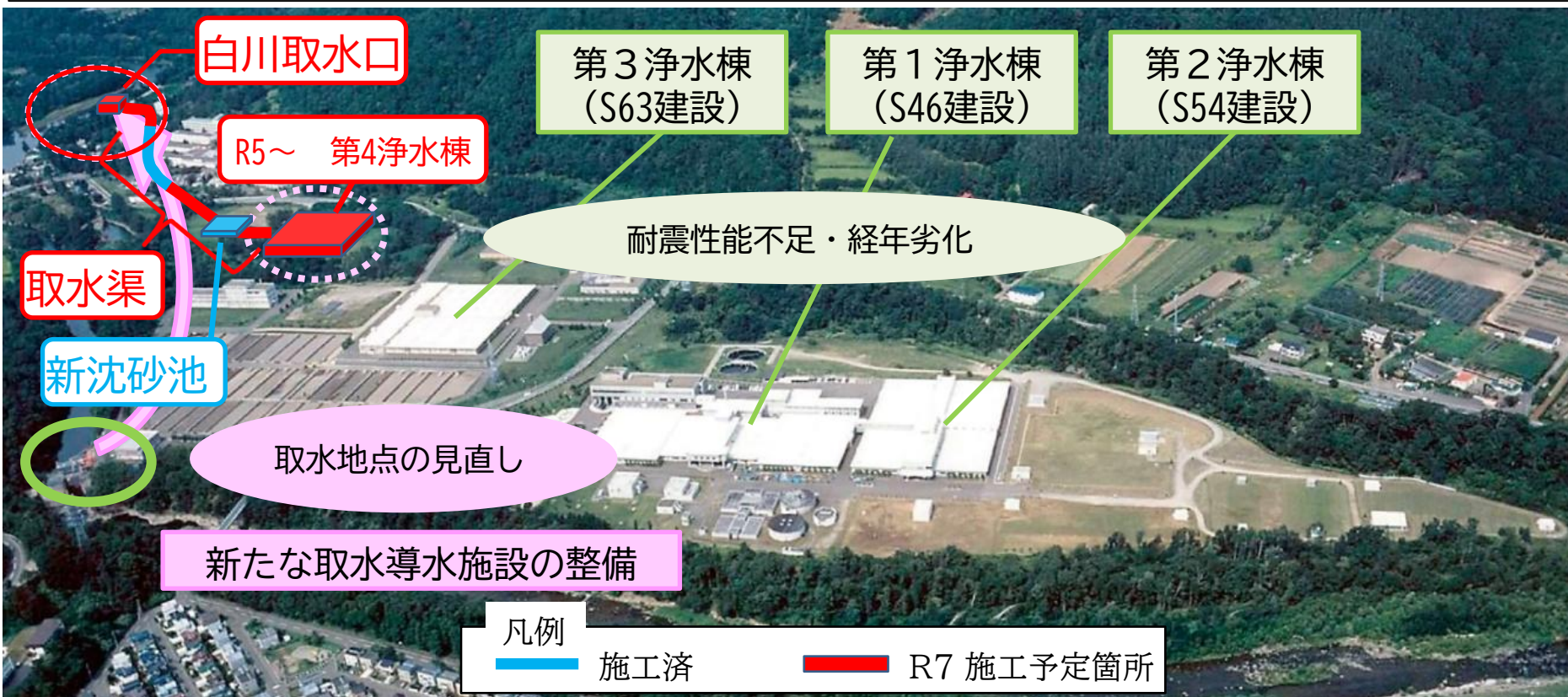
6 主要事業の概要

(消費税込 単位:百万円)

目 標	主な事業	事業費
2 安定した水の供給	(3) 白川浄水場改修事業	6,391

【事業内容】

耐震性能が不足しているとともに経年劣化が進んでいる既存浄水棟を段階的に改修する。改修は既存浄水棟の浄水処理を停止して行う必要があり、停止時に低下する給水能力を補うため新たに第4浄水棟を先行して建設する。



6 主要事業の概要

(消費税込 単位:百万円)

目 標	主な事業	事業費
2 安定した水の供給	(4) 白川第1送水管更新事業	1,190

【事業内容】

経年劣化が進み、耐震性も不足している白川第1送水管を耐震管を用いて更新する。



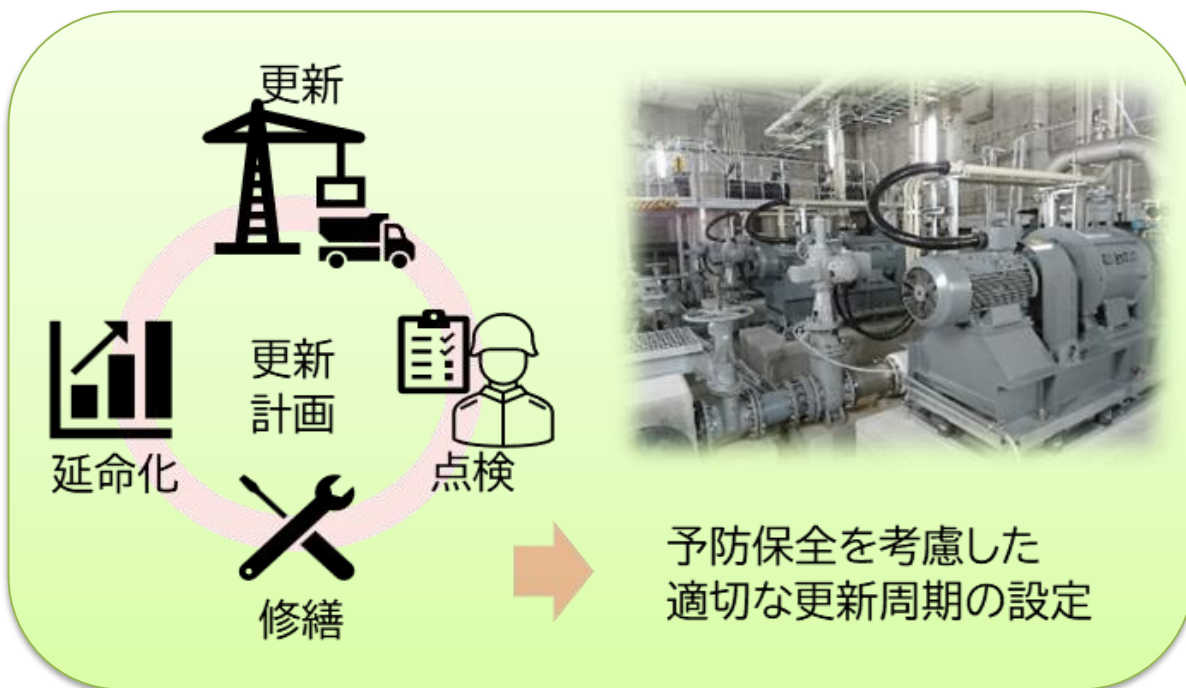
6 主要事業の概要

(消費税込 単位:百万円)

目 標	主な事業	事業費
2 安定した水の供給	(5) 設備更新	2,530

【事業内容】

浄水場および配水施設で稼働している様々な電気・機械設備が異常や故障などにより停止しないよう、予防保全を考慮した適切な更新周期を設定し、計画的に更新を進めている。



更新周期の例



6 主要事業の概要

(消費税込 単位:百万円)

目 標	主な事業	事業費
2 安定した水の供給	(6) 配水施設耐震化等整備事業	543

【事業内容】

災害時にも安定した給水を行うため、耐震性能が不足している配水施設の耐震化を行う。

硬石山配水池(R7)

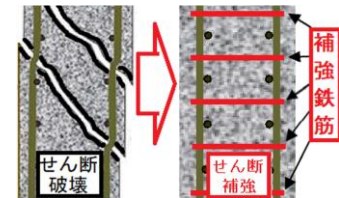
R6から引続き、鉄筋挿入工法等によって、配水池の耐震改修工事を実施



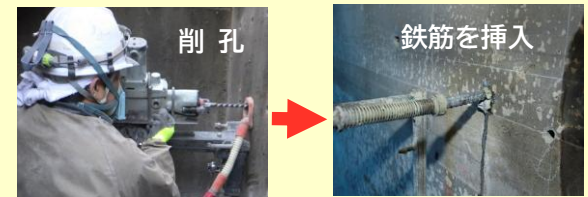
【コンクリート構造物の耐震補強】

鉄筋挿入によるせん断補強

コンクリート内に鉄筋を差し込んで
せん断破壊に対して抵抗させる



〔せん断補強施工状況〕



コンクリートの内部に鉄筋が配置されてない
位置に削孔して、補強鉄筋を挿入する

6 主要事業の概要

(消費税込 単位:百万円)

目 標	主な事業	事業費
3 利用者に満足される水道	(7) スマートメーターの調査研究	13

【事業内容】

冬季間などの推定による請求の改善や、漏水の早期発見などの利用者サービスの向上に加えて、将来的な検針員の担い手不足への対応として、スマートメーターの導入について検証を進める。

【スマートメーターの検針イメージ】

「出典：公益財団法人 水道技術研究センター」



- ・通信により現地に赴くことなく検針可能
- ・冬季間などの推定による請求の改善

- ・漏水の早期発見など

6 主要事業の概要

(消費税込 単位:百万円)

目 標	主な事業	事業費
3 利用者に満足される水道	(8) 広報・広聴活動	31

【事業内容】

水道事業PRイベントの実施や幅広い利用者とのコミュニケーションの充実を通じて、水道局の取組をわかりやすく伝え、水道事業に対する理解や利用者の信頼向上を図る。



水道事業PRイベント

水道局の取組について理解を深める機会を作る

水道凍結防止キャンペーン

冬期間も快適に水道を利用してもらえよう、凍結防止対策の徹底を呼び掛ける



各種広報紙の発行

広報紙の発行を年に複数回行い、水道局の取組を広く周知する



※画像は令和6年度撮影

6 主要事業の概要

(消費税込 単位:百万円)

目 標	主な事業	事業費
3 利用者に満足される水道	(9)水道記念館を活用した水道学習の推進	123

【事業内容】各種イベントの開催や、他部局・他施設との連携など、様々なPR活動により、水道記念館の効果的な来館促進に努め、市民の水道学習を推進する。また、水道記念館の魅力向上のため、館内の一部展示物を更新する。

イベント(さっぽろ水道フェスタ、水道記念館秋まつりなど)

小学生以下の子どもやその保護者を主なターゲットとし、水道事業について楽しみながら学ぶ機会を創出



他部局・他施設との連携

下水道科学館(下水道河川局)主催のイベントへの参加、水道フェスタや秋まつりでの応急給水体験ブースの設置など

展示物の更新

水道記念館の展示物を一部更新し、体験型の展示を増やすことによって魅力向上を図り、来館者を増加させる(令和7年度実施設計)



6 主要事業の概要

(消費税込 単位:百万円)

目 標	主な事業	事業費
4 健全経営のもと自律した水道	(10) 人材の育成と技術継承	18

【事業内容】

水道事業の運営に必要な知識・技術を次世代の担い手に確実に継承していくため、職員研修の実施や研修資料の整備を行うほか、各種資格取得者を計画的に確保する。

職員研修体系

		概要	令和6年度 実施回数	令和6年度 延べ受講者数
内部研修	職場研修(部内・課内)	課内/部内の職員を対象に日常業務を通じて計画的かつ継続的に実施する研修	897回	6,232人
	局内研修	局職員を対象に一般に共通する事項に対し実施する研修	60回	707人
外部研修	委託・派遣研修	国、地方公共団体、民間企業などの外部組織が主催する研修や講演会	52回	100人
	資格取得	各種法定資格者等を計画的に確保・養成するための、講習受講や試験受験	49回	110人
	局外研修	札幌市総務局自治研修センターで実施する研修や他部局が主催する研修	113回	1,761人

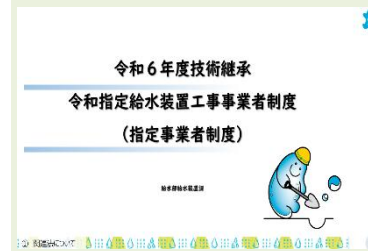
実施状況



局内研修



浄水場見学



研修教材作成

6 主要事業の概要

(消費税込 単位:百万円)

目 標	主な事業	事業費
4 健全経営のもと自律した水道	(11) 再生可能エネルギーの導入拡大	371

【事業内容】

脱炭素社会の実現に向けて、水力発電などの再生可能エネルギーの導入を進める。

